

2026年6月26日

各位

ENEOS Xplora 株式会社

**マレーシアで日本企業初となる Sapphire Award を受賞**

当社子会社である ENEOS Xplora マレーシア株式会社（以下、「Xplora マレーシア」）は、マレーシア国営石油・ガス会社である Petroliam Nasional Berhad（以下、「ペトロナス」）の Malaysia Petroleum Management が主催する Emerald Awards 2026 表彰式で、最も優れた油・ガス田操業会社に対して贈られる Sapphire Award を日本企業として初めて受賞しましたので、お知らせいたします。

マレーシアでは、ペトロナスを中心に、当社をはじめとした多くの操業会社が、石油・天然ガスの生産を行っています。本表彰は、マレーシアにおける油・ガス田操業について、安全性、環境配慮、安定操業、人財開発等の多岐にわたる分野における 2025 年の貢献をもとに評価するものです。今回の受賞は、Xplora マレーシアが同国サラワク州沖にてオペレーター\*1を務める SK10 鉱区での安全・安定操業に関する技術力、および長年にわたるペトロナスとのパートナーシップが評価されたものです。

当社は 1987 年に SK10 鉱区の権益を取得し、2003 年にヘランガス田での生産を開始しました。その後も同鉱区内において追加開発を継続し、2017 年にラン油ガス田、2018 年にベリルガス田での生産を開始するなど、ペトロナスと連携し着実に生産量を増加させてまいりました。昨年には、同鉱区におけるペトロナスとの長年のパートナーシップを踏まえ、鉱区権益期間の 10 年間延長をペトロナスと合意いたしました。また、2024 年にはマレー半島沖合の高濃度 CO<sub>2</sub> を含む未開発ガス田群の開発プロジェクトである BIGST プロジェクトに係る鉱区権益を取得し、オペレーターであるペトロナス子会社と共に同プロジェクトの開発移行に向けた作業を進めています。

加えて、当社は天然ガス液化事業\*2を行うペトロナス子会社である PETRONAS LNG 9 Sdn. Bhd.への 10% 出資を通して同事業に参画すると共に、同じくペトロナス子会社である Malaysia LNG Tiga Sdn. Bhd.（以下、「ティガ社」）の株式 10%を取得し、同社の天然ガス液化事業への再参画\*3についてペトロナスと合意するなど、マレーシアにおける事業基盤のさらなる強化を進めております。

SK10 鉱区で生産したガスは、ティガ社等の設備で液化された後、日本をはじめとするアジア諸国に LNG として輸出されています。当社は、全社戦略として、オペレーター能力、資産評価・案件組成力および産油国との関係強化を掲げており、これまで蓄積した技術と経験を活かし、引き続き本鉱区のオペレーターとして日本を含むアジア諸国へのエネルギーの安定供給に貢献してまいります。

以上

\*1オペレーター：鉱区におけるプロジェクトの計画立案および探鉱・開発・生産を行う操業主体

\*22026年4月1日、グループ内天然ガス事業を当社へ統合（2025年11月12日公表）

\*31995年から参画していたが2023年に権益期間満了し、本年に再参画合意（2026年4月30日公表）

<ENEOS Xplora マレーシア株式会社の概要>

- (1) 代表者 取締役社長 友枝 城太郎
- (2) 所在地 東京都港区麻布台一丁目3番1号 麻布台ヒルズ森 JP タワー
- (3) 設立日 1987年10月14日
- (4) 事業内容 マレーシアにおける石油・天然ガスその他鉱物資源の探鉱、開発および採取 他
- (5) 資本金 131億円
- (6) 株主構成 当社 (78.7%)、株式会社 INPEX (15.0%)、三菱商事株式会社 (6.3%)



ペトロナス Emerald Awards 2026 表彰式の様子 (ペトロナス提供)